

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	環境厚生常任委員会	会議場所 全員協議会室	
		担当職員 小野	
日 時	令和3年1月27日(水曜日)	開 議	午前 10 時 20 分
		閉 議	午前 11 時 58 分
出席委員	◎並河 ○大塚 長澤 富谷 平本 三宅 小松 西口		
理事者 出席者	【環境市民部】由良部長 〔環境政策課〕山内課長、綾野主幹、名倉環境保全係長 【健康福祉部】河原部長 〔健康増進課〕大西課長、大原健康管理係長		
事務局	小野主任		
傍聴者	市民 2名	報道関係者 1名	議員1名(奥野)

会 議 の 概 要

1 開 議

2 事務局日程説明

3 行政報告

(1) 亀岡市プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例の施行後の状況について

<環境市民部長>

(あいさつ)

<環境政策課長>

(資料に基づき説明)

～ 10 : 09

[質疑]

<三宅委員>

商品としてのプラスチック製レジ袋は、どういう内容で区別するのか。

<環境政策課長>

最低10枚1組でパッケージされた商品は販売すると言えないが、レジの横で1枚ごとに販売されているような場合は指導の対象となる。

<平本委員>

消費者と事業者の間でトラブルはないか。

<環境政策課長>

無料でレジ袋を提供している店があり、近隣の店に行かれて、なぜこの店では無料でレジ袋を提供しないのかと問われたことがあったと聞いている。

<平本委員>

苦情を言っていたのは、市内の方か。

<環境政策課長>

話の中ではわからなかったが、市外の方で、亀岡市に立ち寄られた方ではないかと推測される。

<富谷委員>

紙袋の販売枚数は把握しているか。

<環境政策課長>

紙袋の発注数は集計しており、現時点で約23万枚が発注されている。

<西口委員>

スタートアップ期間を設定しているが、期間が終わった後も市民や事業者に対して丁寧かつ柔軟な対応をしていただきたい。

<環境市民部長>

この施策を進めるためには、市民や事業者の協力が必要であることから、スタートアップ期間が終わったからといって、急に対応を厳しくすることはできないと考えており、状況を見ながら市民や事業者の理解を得たいと考えている。また、適切に取り組んでいただいている事業者等が損をすることがないように対応していきたい。

<小松委員>

この取組の成果を市民等に報告する予定はあるか。

<環境政策課長>

この取組の成果は、何らかの形で情報発信したいと思っている。

<三宅委員>

市外から来られる方への情報の発信方法は。

<環境政策課長>

JRの案内、京阪京都交通や店舗に表示していきたい。

<三宅委員>

スタートアップ期間は、少なくとも1年は継続していただきたい。

<長澤委員>

商品の持ち帰りに困っている事例も聞くので、業種業態に応じた配慮をお願いしたい。

<大塚副委員長>

スタートアップ期間の柔軟な対応の解釈は。

<環境政策課長>

課題の解決に向け、一緒に取り組んでいくという内容である。

<大塚副委員長>

何ができるかを考えていただきたい。

<平本委員>

他自治体から問い合わせはくるか。

<環境政策課長>

応援メッセージがくる。今度、名古屋で自治体ミーティングがあり、その場で先進地としての事例発表を依頼されている。

<平本委員>

どこかの時点でこの条例の検証を行うことになると思うが、その際には他の自治体と情報交換等を行い、さらによいものとしていただきたい。

[理事者退室] 環境市民部

[理事者入室] 健康福祉部

(2) 新型コロナワクチンの接種体制確保並びに接種スケジュールについて

<健康福祉部長>

(あいさつ)

<健康増進課長>

(資料に基づき説明)

～ 10 : 55

[質疑]

<平本委員>

厚生労働省の通知では、大きな会場が必要となるイメージであるが、市が管理している施設の中でどのような場所を考えているのか。

<健康増進課長>

決定はしていないが、例えばガレリアかめおかのコンベンションホール、亀岡運動公園体育館や保健センターなどを想定している。

<西口委員>

スムーズに対応しようとする組織的に対応する必要があると考えるが、プロジェクトチームなどをつくる考えはあるか。

<健康福祉部長>

具体的な体制やスケジュール、またどういった形で対応していくかシミュレーションを行っており、総合的に判断する中で、必要に応じて体制強化を行っていきたいと考えている。

<西口委員>

情報収集に努めていただき、市民が安心できるよう情報提供を行っていただきたい。

<健康増進課長>

ワクチンが国で承認されていないこともあり、接種の日時も示されていないが、国や府と連携しながら情報収集に努め、市民に正確な情報提供を行っていききたい。

<富谷委員>

ワクチンの管理上、病院まで行かないとワクチンの接種ができないとなると、高齢者施設に入所されている方などにとっては、大きな負担になると思うが、どのように考えているか。

<健康増進課長>

国は、高齢者施設から外出して接種をすることが難しい場合、病院から医師などを施設に派遣して実施するということが想定されている。しかし、その具体的な手法についてはまだ示されていないため、国から情報があり次第、その手法を行うことができるか検討のうえ、高齢者施設などに案内していきたい。

<平本委員>

ワクチンを保管するために必要なマイナス75℃とマイナス20℃のフリーザーが国から入ってくると聞いているが、それぞれ何台でどこに設置する予定か。

<健康増進課長>

マイナス75℃のフリーザーが6台納品される予定である。マイナス20℃のフリーザーの台数は資料を持ち合わせていないが順次納品されることになっている。マイナス75℃のフリーザーは1度に納品されるのではなく、2月から6月にかけて毎月1台、5月のみ2台が入ってくる予定である。設置場所としては、市内の病院5カ所に置いてもらえないか調整中である。市としても1台設置する予定である。

<平本委員>

方針が確定してからでよいが、市民に情報を周知することで不安が払拭されると思うので積極的に対応していただくよう要望する。

<大塚副委員長>

京都府の役割は。

<健康増進課長>

医療従事者への予防接種と管内の調整役である。具体的な役割は示されていない。

(3) 新型コロナウイルス感染症に係る対応状況について

<健康増進課長>

(資料に基づき説明)

～ 11 : 44

[質疑]

<富谷委員>

自宅療養者で亡くなられた方の件数を発表することは可能か。

<健康増進課長>

亀岡市では、京都府が発表した情報を周知しており、個別の情報までは公にされていないことから把握できない状況である。

<平本委員>

PCR検査を受けることができる場所などの広報は行っているか。

<健康増進課長>

厚生労働省のホームページに掲載している。対象となっているのは、検査を行い陽性となった場合に対応できる医療機関が掲載されている。対応できない場所などは掲載されていない。

4 その他

<並河委員長>

次回の委員会は2月8日(月)令和3年2月特別議会において、議案審査と正副委員長の選挙を行う。

散会 ～ 11 : 58